

I. 報告事項

- 報告 1 2021 年度事業報告の件
資料 1 2021 年度事業報告書
- 報告 2 2022 年度事業計画の件
資料 2 2022 年度事業計画書
- 報告 3 2022 年度収支予算書の件
資料 3 2022 年度収支予算書

II. 決議事項

- 第 1 号議案 2021 年度決算の件
 - 資料 4 貸借対照表
 - 資料 5 正味財産増減計算書
 - 資料 6 財産目録（注記，附属明細書を含む）
 - 資料 7 監査報告書
- 第 2 号議案 役員選任の件
 - 資料 8 2022，2023 年度理事及び監事候補

2022 年 5 月 27 日

一般社団法人 日本フルードパワーシステム学会

〒 105-0011 東京都港区芝公園 3 丁目 5-22
機械振興会館 別館 102

電話 03-3433-8441
FAX 03-3433-8442
E-mail info@jfps.jp

1. 2021年度事業報告の件

資料1 2021年度事業報告

自 2021年 4月 1日

至 2022年 3月31日

1-1 事業

(1) 集会事業 (企画委員会)

事業名	行事名	期日	場所
総会	第40期通常総会	2021. 6. 25	東京(機械振興会館) オンライン
式典	学会創立50周年記念式典	2021. 6. 25	東京(機械振興会館) オンライン
講演会	2021年春季フルードパワーシステム講演会 参加者 個人：51名, 団体：5団体 論文数：29件	2021. 6. 24 ～6. 25	オンライン
	第11回JFPSフルードパワー国際シンポジウム 函館2020 参加者：113名(国外:23, 国内:90) 論文数：77件, バナー広告出展：3社・4口	2021. 10. 12 ～10. 13	函館(函館アリーナ) オンライン
講習会	フルードパワー道場	中止	
	フルードパワーシステム特別研修会 登録参加者：7社・7名	2回開催 第3回以降 検討中	オンライン
セミナー	学会創立50周年記念特別セミナー 「製品を通してフルードパワー技術を振り 返る」 参加者：120名	2021. 6. 24	オンライン
	2021年度オータムセミナー 「機能性流体入門ー基礎と応用ー」 参加者 個人：26名, 団体：4団体	2021. 11. 19	オンライン
	2021年度ウィンターセミナー 「フルードパワーに利用できるマイコン技術 ～機器の駆動に関わるマイコン技術 (ハード&ソフト編)～」	2022. 3. 17 ～ 3. 18 開催延期	千葉 (高度ポリテクセンター)

(2) 研究委員会 (企画委員会・基盤強化委員会)

1. 油圧機器のトライボロジーなど基盤技術に関する基盤研究委員会
(委員長 西海 孝夫, 2021年4月～2023年3月) 3～4回／年開催
2. 機能性流体フルードパワーシステムに関する研究委員会
(委員長 中野 政身, 期間延長；2021年4月～2022年3月) 3～4回／年開催
3. 深層学習を活用したフルードパワーシステムのモデル化と制御に関する研究委員会
(委員長 小林 亘, 期間延長；2021年4月～2022年3月) 3～4回／年開催

(3) 会誌（編集委員会）

	Vol.	No.	発行年月日
会誌「フルードパワーシステム」	52	3	2021. 5. 15
		4	7. 15
		E1	8. 15（電子出版）
		5	9. 15
		6	11. 15
	53	1	2022. 1. 15
		2	3. 15
発行数	電子出版を含め7回発行，毎号1,550部		

(4) 研究論文（論文集委員会）

	和文/英文誌の別	投稿論文 受付件数	論文集 掲載済	掲載待ち	校閲中	返却
2020年度	和文誌	5	3	0	0	2
	英文誌	6	6	0	0	0
2021年度	和文誌	5	2	1	1	1
	英文誌	19	3	3	11	2

(5) 表彰（表彰委員会）

① 2020年度（一社）日本フルードパワーシステム学会賞授賞者

・学術論文賞：

「製紐機を用いたインダクタンス型スマート人工筋の製作手法の確立」

小川 草太，脇元 修一，神田 岳文，木村 健人，安藤 克倫（岡山大学）

・技術開発賞：

「鉄道車両用電動油圧式フルアクティブサスペンションシステムの開発」

青木 淳，小川 貴之，鈴木 努（KYB株式会社）

・技術功労賞：肥田 一雄（川崎重工業株式会社）

・学術貢献賞：小山 紀（明治大学）

・最優秀講演賞：

<春季> 開催中止

<秋季> 社会人部門；該当者なし

学生部門；鶴原 理司（芝浦工業大学），武内 健史郎（岡山理科大学）

② 2020年度SMC高田賞：

「Development and Attitude Control of Washable Portable Rehabilitation Device for Wrist without Position Sensor」

下岡 綜（松江工業高等専門学校）

③ 2020年度油空圧機器技術振興財団顕彰：

「微粒子励振型流量制御弁におけるねじり振動を利用した駆動原理の有効性評価」

廣岡 大祐，東 一毅，古城 直道，山口 智実（関西大学）

④ 名誉員：築地 徹浩（上智大学）

小山 紀（明治大学）

⑤ フェロー：丸田 和弘（株式会社小松製作所）

1-2 会議及び委員会活動

会議名	回数	備考
第40期通常総会	1回	2021. 6. 25開催(オンライン)
理事会	6回	オンライン, 書面審議
委員長会議	5回	オンライン
評議員会		開催中止 (評議員会資料送付)
各委員会		
庶務委員会		書面審議
会計委員会		書面審議
編集委員会	6回	オンライン, 書面審議
企画委員会	6回	オンライン
基盤強化委員会		書面審議
論文集委員会	4回	オンライン, 書面審議
出版委員会		書面審議
表彰委員会		書面審議
情報システム委員会	4回	オンライン
国際交流委員会	3回	オンライン, 書面審議
国際シンポジウム実行委員会	5回	オンライン
創立50周年記念事業 分科会	1回	オンライン

(1) 会議

- 理事会 各担当理事からの提案事項, 各委員会活動計画・報告内容, 基盤強化に関する事項などを審議した.
- 委員長会議 理事会開催の前月に開催し, 各委員会活動の調整および理事会に諮る議題を検討した.
- 評議員会 事務局より 2021 年度の評議員会資料を送付し, 学会活動における諸問題について提案いただいた.

(2) 委員会

- 庶務委員会 事務局職員の給与, 賞与の策定, 規程類の改訂審議, その他適宜施策を策定し実施した.
- 会計委員会 財務の管理・運営, 決算書・予算書などの作成, 会計監査などを適宜実施した. 改訂された経理業務処理規定に基づき, 毎月の予算管理および半期ごとの予算執行状況報告を実施した.
- 編集委員会 会誌の特集企画立案および編集作業を実施した.
- 企画委員会 講演会, セミナーなどの集会事業を企画・実施するとともに, オンライン開催可能な環境整備を行い, オンラインによる講演会, セミナーを開催した. また, オンライン開催時には参加資格に「団体」枠を設け, 企業の研究者, 技術者が参加しやすい環境づくりを行った. 研究委員会や特別研究委員会などの研究調査事業を基盤強化委員会と連携して企画し, 実施した.
- 基盤強化委員会 学会の会員増強, 財務強化のための施策を企画立案した. 工業会と連携し, IFPEX2021 カレッジ研究発表コーナーに出展するとともに, 研究者リストの見直しを実施した. また, フェローの推薦・認定を行った. 基盤研究委員会の設置などの研究調査事業を企画委員会と連携して企画し, 実施した.
- 論文集委員会 論文集への投稿論文等の校閲の運営・管理を実施した. J-STAGE 上に和文論文集 2 編, 英文論文集 2 編を公開した. また, 論文投稿料の改定を行うとともに, 英文論文投稿規程, 執筆要領, 英文論文テンプレートの見直しを実施した.
- 出版委員会 会誌や論文集など他の委員会が所掌する出版物以外の出版に関する事業の企画立案及び編集を実施し, 創立 50 周年記念事業実行委員会出版・編集分

- 科会とともに学会創立 50 周年記念誌「日本フルードパワーシステム学会 50 年のあゆみ」，および機能性流体テキスト「機能性流体入門～基礎と応用～」を発行した。
- 表彰委員会 学会賞各賞の募集・選考・表彰，名誉員の推挙，他団体の顕彰への推薦などを実施した。
- 情報システム委員会 情報の充実化のための一環として，HP の充実と保守管理・運営，学会事務局の IT 化，情報セキュリティ確保に関連した整備を実施した。また，HP への公募情報掲載にともない「HP に関する内規」の改訂作業を実施した。
- 国際交流委員会 オンライン開催された第 6 回日中韓ジョイントワークショップに 4 名の研究者が参加・講演し，韓国 KSFC の雑誌に推薦論文 3 編が掲載された。
- 国際シンポジウム実行委員会 新型コロナウイルスの影響で延期されていた，「第 11 回 JFPS フルードパワー国際シンポジウム函館 2020」を開催した。開催準備のため，実行委員会開催，各種アナウンスおよび募集等を適宜実施した。
- 学会創立 50 周年記念事業実行委員会 記念式典・企画分科会，記念出版・編集分科会，財務分科会の 3 分科会にて，学会創立 50 周年記念式典，記念特別セミナーをオンライン開催した。また，記念出版として，学会創立 50 周年記念誌「日本フルードパワーシステム学会 50 年のあゆみ」，機能性流体テキスト「機能性流体入門～基礎と応用～」を発行した。

(3) 寄付金

- ・一般寄付金振込額
¥ 5,000,000 (SMC株式会社，2022年1月20日)

(4) 会員の移動状況

会員の種別	2021年4月1日	2022年4月1日	差引増減	備考
正会員(注)	855名	834名	－21名	
学生会員	60名	87名	＋27名	
賛助会員	125社 (279口)	126社 (281口)	＋1社 (＋2口)	

(注) 正会員の内訳：

2021年4月1日 名誉員 14名，シニア員 50名，ジュニア員 90名，その他 701名

2022年4月1日 名誉員 16名，シニア員 65名，ジュニア員 76名，その他 668名

2. 2022年度事業計画の件

資料2 2022年度事業計画書（案）

自 2022年 4月 1日

至 2023年 3月31日

2-1 事業計画

（1）集会事業

事業名	行事名	期日	場所
総会	第41期通常総会	2022. 5. 27	東京(機械振興会館) オンライン
式典	学会創立50周年記念パーティー	未定	東京(機械振興会館)
講演会	2022年春季 フルードパワーシステム講演会	2022. 5. 26 ～6. 27	オンライン
	2022年秋季 フルードパワーシステム講演会	2022. 11. 10 ～11. 11	下関(海峡メッセ) オンライン
講習会	フルードパワー道場 「・・・・・・・・・・・・・・・・」	4回開催	オンライン 東京近郊・他
	フルードパワーシステム特別研修会	4～5回開催	オンライン 東京近郊・他
セミナー	2022年度オートムセミナー	2022. 12	オンライン 東京近郊・他
	2022年度ウィンターセミナー	2023. 2	オンライン 東京近郊・他

（2）研究委員会（基盤強化委員会、企画委員会）

- 1) 油圧機器のトライボロジーなど基盤技術に関する基盤研究委員会
(委員長 西海 孝夫, 2021年4月～2023年3月) 3～4回／年開催
- 2) 空気圧機器システム特性基盤研究委員会
(委員長 香川 利春, 新設; 2022年4月～2024年3月) 3～4回／年開催
- 3) 機能性流体FPSのフロンティア展開に関する研究委員会
(委員長 中野 政身, 新設; 2022年4月～2024年3月) 3～4回／年開催
- 4) 深層学習を活用したフルードパワーシステムに関する研究委員会
(委員長 小林 亘, 新設; 2022年4月～2024年3月) 3～4回／年開催

（3）学会誌・論文集

学会誌「フルードパワーシステム」を、電子出版号を含めて年7号刊行する。

「日本フルードパワーシステム学会論文集」, 「JFPS International Journal of Fluid Power System」を、適宜 J-STAGE に掲載する。

（4）出版物

講演会の論文集, セミナーのテキストを電子出版する。また, 研究委員会の研究成果報告書を出版する。

（5）表彰

学会賞（学術論文賞, 学術貢献賞, 技術開発賞, 技術功労賞, 最優秀講演賞）, SMC 高田賞, 名誉員の推挙, 他団体の顕彰への推薦などの募集, 選考, 表彰を実施する。

- (6) 他学協会との共催、協賛
「フルードパワーシステム講演会」、オータムセミナー、ウィンターセミナー、その他企画事業について関連団体へ共催・協賛を積極的に要請する。同じく、関連団体よりの共催・協賛要請に適宜対応する。
- (7) 学会 IT 環境整備事業
会員へのサービス向上のため IT 環境の整備、特に HP を逐次更新し、最新情報を担保するとともに、会員管理システムのセキュリティ更新、学会事務局のセキュリティ確保を継続して実施する。
- (8) 国際交流事業
中国との交流のため、若手研究者を派遣する。
2023 年に日本で開催される日中韓共同ワークショップの開催準備を進める。
第 12 回 JFPS フルードパワー国際シンポジウム広島 2024 の開催準備を進める。
- (9) 産・学共同研究事業
日本フルードパワー工業会と共同し、関連情報の収集、テーマの設定、研究開発の概要などを検討する。
- (10) 学会設立 50 周年記念事業
学会設立 50 周年記念事業実行委員会にて、創立 50 周年記念パーティーを計画・開催する。

2-2 会議及び各委員会の活動計画

- (1) 通常総会 第 41 期通常総会 (5 月 27 日開催予定)
- (2) 理事会 年 6 回開催 (委員長会議 (年 5 回開催) で理事会の議題調整・準備)
- (3) 各委員会
 - 庶務委員会：適宜開催
組織、定款・細則・諸規程整備、渉外・人事などに関する策定と実施。
 - 会計委員会：適宜開催
財務の管理・運営、決算書・予算書等の作成、年度末の会計監査の実施、毎月の予算管理および半期ごとの予算執行状況報告。
 - 編集委員会：年 6 回開催
会誌の特集企画立案および編集、新トピックス記事の検討。
 - 企画委員会：年 6 回開催、その他分科会適宜開催
講演会、セミナーなどの集会事業の企画策定と実施。
研究委員会や特別研究委員会などの研究調査事業の基盤強化委員会との連携による企画、運営。
 - 基盤強化委員会：年 4 回開催
学会会員増強、財務基盤強化のための施策の企画立案と実施。
若手 FP 道場や FPS 特別研集会などの若手技術者の研修事業の企画と実施。
基盤研究委員会などの研究調査事業の企画委員会との連携による企画、運営。
日本フルードパワー工業会との産学共同研究事業の推進。
 - 論文集委員会：適宜開催
論文集への投稿論文などの校閲の運営・管理、J-STAGE での公開。
 - 出版委員会：適宜開催
会誌や論文集など他の委員会が所掌する出版物以外の出版に関する事業の企画立案および編集。
 - 表彰委員会：適宜開催
学会賞等の各賞の募集・選考・表彰、名誉員の推挙、他団体の顕彰への推薦。

情報システム委員会：年 4 回開催

情報の充実化策定と実施, 学会誌・講演論文集等の電子化および公開, 学会 IT 関連整備,
HP の充実化と管理・運営.

国際交流委員会：適宜開催

中国との交流のため, 若手研究者を派遣する.

2023 年に日本で開催される日中韓共同ワークショップの開催準備を進める.

国際シンポジウム実行委員会：適宜開催

第 12 回 JFPS フルードパワー国際シンポジウム広島 2024 の開催準備を進める.

学会創立 50 周年記念事業実行委員会：適宜開催

記念式典・企画分科会にて, 時期を見て創立 50 周年記念パーティーを計画・開催する.

報告 3 2022 年度収支予算の件

資料 3 2022年度収支予算書

2022年 4月 1日～2023年 3月31日まで

(単位：円)

科 目	2022 年度
I 一般正味財産増減の部	
1. 経常増減の部	
(1) 経常収益	
特定資産運用益	0
特定資産受取利息	0
受取会費	23,100,000
正会員会費収入	5,958,000
賛助会員会費収入	16,920,000
学生会員会費収入	222,000
受取参加料	3,500,000
春季・秋季講演会収入	1,700,000
オータム・ウィンターセミナー収入	800,000
FP 道場収入	300,000
OHC-Sim 事業収入	0
研究委員会収入	0
特別研修会収入	700,000
国際シンポジウム収入	0
国際交流事業収入	0
受取販売料	550,000
学会誌頒布収入	350,000
諸資料頒布及び著作権料収入	200,000
受取掲載料	400,000
論文掲載料収入	400,000
受取広告料	1,300,000
広告料収入	1,300,000
受取出展料	0
IFPEX 展示収入	0
受取補助金等	50,000
国際シンポジウム	0
秋季講演会	50,000
受取寄付金	5,000,000
国際シンポジウム	0
その他	5,000,000
雑収益	10,000
普通預金利息	0
雑収益	10,000
経常収益計	33,910,000
(2) 経常費用	
会誌事業費	5,460,000
会議費	20,000
諸謝金費	400,000
印刷製本費	3,000,000
通信運搬費	800,000
編集業務委託費	1,200,000
支払手数料	40,000
企画事業費	1,470,000
会議費	20,000
春季・秋季講演会開催費	1,000,000
セミナー（オータム・ウィンター）開催費	300,000
FP 道場開催費	150,000

科 目	2022 年度
研究委員会事業費	400,000
機能性流体研究委員会費	100,000
トライボロジー研究委員会費	100,000
深層学習研究委員会費	100,000
空気圧機器システム特性研究委員会	100,000
OHC-Sim 事業費	0
OHC-sim 特別教育講座開催費	0
OHC-sim 特別研究委員会費	0
特別研修会事業費	300,000
FPS 特別研修会開催費	300,000
表彰事業費	240,000
表彰費	240,000
情報関連事業費	1,240,000
保守費	200,000
回線使用料・ドメイン管理費	70,000
IT 環境整備費	800,000
サーバー保守費	150,000
会議費、運営費	20,000
国際交流事業費	100,000
国際交流事業費	100,000
論文集事業費	1,400,000
会議費	0
論文集公開経費（J-STAGE）	1,400,000
出版事業費	200,000
研究委員会報告書発行費	200,000
IFPEX 開催費	0
IFPEX 開催費	0
創立 50 周年事業費	1,500,000
会議費	0
記念式典・企画事業	1,000,000
記念出版・編集事業	0
広報事業	0
学会事務局設備更新	500,000
国際シンポジウム開催費	200,000
国際シンポジウム開催費	0
準備費	200,000
管理費	21,400,000
給料手当	10,400,000
福利厚生費	2,400,000
会議費	400,000
旅費交通費	200,000
通信運搬費	300,000
什器備品費	350,000
消耗品費	200,000
賃貸料	3,600,000
諸謝金	800,000
支払手数料	80,000
他団体参加費	120,000
基盤強化委員会費	50,000
租税公課	0
退職給付費用	1,000,000
減価償却費	1,200,000
雑費	300,000
経常費用計	33,9100,000
当期経常増減額	0

Ⅱ. 決議事項

第1号議案 2021年度決算の件

資料4 貸借対照表

2022年 3月31日現在

(単位：円)

科 目	当年度(2021)	前年度(2020)	増 減
I 資産の部			
1. 流動資産			
現金預金	45,063,868	42,613,123	2,450,745
未収金	0	2,045	△ 2,045
流動資産合計	45,063,868	42,615,168	2,448,700
2. 固定資産			
(1) 特定資産			
退職給付引当預金	2,804,944	2,000,000	804,944
情報システム運営基金	5,000,000	5,000,000	0
国際交流事業運営基金預金	7,586,511	7,586,511	0
国際シンポジウム運営基金預金	11,253,505	11,253,505	0
産学共同研究基金預金	6,866,252	6,866,252	0
出版事業基金預金	2,574,574	2,574,574	0
フルードパワーシステム技術基金	5,000,000	5,000,000	0
特定資産合計	41,085,786	40,280,842	804,944
(2) その他固定資産			
ソフトウェア	0	0	0
リース資産	1,645,704	2,685,096	△ 1,039,392
電話加入権	38,441	38,441	0
敷金	3,163,800	3,163,800	0
その他固定資産合計	4,847,945	5,887,337	△ 1,039,392
固定資産合計	45,933,731	46,168,179	△ 234,448
資産合計	90,997,599	88,783,347	2,214,252
Ⅱ 負債の部			
1. 流動負債			
未払金	45,100	45,100	0
前受金	5,035,000	5,035,000	0
前受会費	15,718,000	15,980,000	△ 262,000
預り金	65,810	76,877	△ 11,067
未払法人税等	117,300	135,800	△ 18,500
流動負債合計	20,981,210	21,272,777	△ 291,567
2. 固定負債			
リース債務	1,645,704	2,685,096	△ 1,039,392
退職給付引当金	2,804,944	2,175,332	629,612
固定負債合計	4,450,648	4,860,428	△ 409,780
負債合計	25,431,858	26,133,205	△ 701,347
Ⅲ 正味財産の部			
1. 一般正味財産	65,565,741	62,650,142	2,915,599
(うち特定資産への充当額)	(38,280,842)	(38,280,842)	(0)
正味財産合計	65,565,741	62,650,142	2,915,599
負債及び正味財産合計	90,997,599	88,783,347	2,214,252

資料5 正味財産増減計算書

2021年 4月 1日～2022年 3月31日まで

(単位：円)

科 目	当年度(2021)	前年度(2020)	増 減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
特定資産運用益	1,803	3,693	△ 1,890
特定資産受取利息	1,803	3,693	△ 1,890
受取会費	23,440,745	23,089,086	351,659
正会員会費収入	6,370,745	6,065,086	305,659
賛助会員会費収入	16,860,000	16,800,000	60,000
学生会員会費収入	210,000	224,000	△ 14,000
受取参加料	6,212,000	2,411,550	3,800,450
春季・秋季講演会収入	904,000	767,000	137,000
オータム・ウィンターセミナー収入	513,000	844,550	△ 331,550
FPS 特別研修会収入	350,000	800,000	△ 450,000
国際シンポジウム収入	4,445,000	0	4,445,000
受取販売料	761,845	581,670	180,175
学会誌頒布収入	390,936	385,906	5,030
諸資料頒布及び著作権料収入	370,909	195,764	175,145
受取掲載料	573,500	100,000	473,500
論文掲載料収入	573,500	100,000	473,500
受取広告料	1,359,600	1,313,400	46,200
広告料収入	1,359,600	1,313,400	46,200
受取出展料	135,000	0	135,000
IFPEX 展示収入	135,000	0	135,000
受取補助金等	500,000	786,044	△ 286,044
国際シンポジウム	500,000	0	500,000
秋季講演会	0	99,044	△ 99,044
その他	0	687,000	△ 687,000
受取寄付金	5,200,000	5,365,000	△ 165,000
国際シンポジウム	200,000	0	200,000
50 周年記念事業	0	355,000	△ 355,000
その他	5,000,000	5,010,000	△ 10,000
雑収益	2,143	180	1,963
普通預金利息	143	180	△ 37
雑収益	2,000	0	2,000
経常収益計	38,186,636	33,650,623	4,536,013
(2) 経常費用			
会誌事業費	4,984,759	5,243,961	△ 259,202
会議費	0	0	0
諸謝金費	339,750	353,390	△ 13,640
印刷製本費	3,183,352	2,868,657	314,695
通信運搬費	740,805	882,754	△ 141,949
編集業務委託費	688,732	1,103,740	△ 415,008
支払手数料	32,120	35,420	△ 3,300
企画事業費	288,742	560,412	△ 271,670
会議費	0	4,000	△ 4,000
春季・秋季講演会開催費	211,418	260,873	△ 49,455
セミナー（オータム・ウィンター）	77,324	295,539	△ 218,215
FP 道場開催費	0	0	0
研究委員会事業費	23,182	100,000	△ 76,818
機能性流体研究委員会	0	100,000	△ 100,000
1DCAE 研究委員会	0	0	0
深層学習研究委員会	23,182	0	23,182
OHC-Sim 事業費	0	0	0
OHC-Sim 特別教育講座	0	0	0
OHC-sim 特別研究委員会	0	0	0
特別研修会事業費	24,417	73,133	△ 48,716
FPS 特別研修会事業費	24,417	73,133	△ 48,716

科 目	当年度(2021)	前年度(2020)	増 減
表彰事業費	231,105	315,077	△ 83,972
表彰費	231,105	315,077	△ 83,972
情報関連事業費	2,264,782	835,445	1,429,337
保守費	213,486	188,955	24,531
回線使用料・ドメイン管理費	109,994	42,700	67,294
IT 環境整備費	1,832,072	494,560	1,337,512
サーバー保守費	109,230	109,230	0
会議費、運営費	0	0	0
国際交流事業費	0	0	0
国際交流事業費	0	0	0
論文集事業費	684,541	510,070	174,471
論文集公開経費 (J-STAGE)	684,541	510,070	174,471
IFPEX 開催費	47,960	0	47,960
IFPEX 開催費	47,960	0	47,960
国際シンポジウム開催費	4,167,462	684,860	3,482,602
国際シンポジウム開催費	4,167,462	0	4,167,462
準備費	0	684,860	△ 684,860
50 周年記念事業費	2,464,671	2,080,482	384,189
会議費	0	13,420	△ 13,420
通信運搬費	183,380	0	183,380
記念式典・企画	191,951	0	191,951
記念出版・編集	2,089,340	1,671,502	417,838
広報(Web., パンフレット等)	0	395,560	△ 395,560
管理費	19,971,839	21,195,491	△ 1,223,652
給料手当	10,101,501	9,791,131	310,370
福利厚生費	2,294,390	2,256,983	37,407
会議費	454,190	382,492	71,698
旅費交通費	53,720	133,860	△ 80,140
通信運搬費	180,277	243,330	△ 63,053
什器備品費	311,040	311,040	0
消耗品費	136,497	81,471	55,026
賃貸料	3,597,204	3,597,204	0
諸謝金	741,400	820,883	△ 79,483
支払手数料	89,190	85,440	3,750
他団体参加費	99,560	99,380	180
基盤強化委員会費	35,299	14,780	20,519
租税公課	0	1,050	△ 1,050
退職給付費用	629,612	554,884	74,728
減価償却費	1,039,392	1,726,947	△ 687,555
雑費	208,567	1,094,616	△ 886,049
経常費用計	35,153,460	31,598,931	3,554,529
評価損益等調整前当期経常増減額	3,033,176	2,051,692	981,484
評価損益等計	0	0	0
当期経常増減額	3,033,176	2,051,692	981,484
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常外費用			
経常外費用計	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0
税引前一般正味財産増減額	3,033,176	2,051,692	981,484
法人税、住民税及び事業税	117,577	136,371	△ 18,794
当期一般正味財産増減額	2,915,599	1,915,321	1,000,278
一般正味財産期首残高	62,650,142	60,734,821	1,915,321
一般正味財産期末残高	65,565,741	62,650,142	2,915,599
II 正味財産期末残高	65,565,741	62,650,142	2,915,599

資料 6 財産目録

2022年 3月31日現在

(単位：円)

貸借対照表科目		場所・物量等	使用目的等	金 額
(流動資産)	現金	手元保管	運転資金として	48,691
	預金	普通預金		44,820,121
		新生銀行本店	運転資金として	246,071
		横浜銀行新橋支店	運転資金として	14,723
		芝信用金庫新橋支店	運転資金として	24,020
		三菱 UFJ 銀行本店	運転資金として	60,872
		りそな銀行新橋支店	運転資金として	8,812,920
		りそな銀行赤坂支店	運転資金として	382,763
		みずほ銀行新橋支店	運転資金として	11,351,383
		三井住友銀行日比谷支店	運転資金として	20,926,407
		ゆうちょ銀行	運転資金として	2,511,314
		郵便振替	運転資金として	489,648
	預金	定期預金		195,056
		ゆうちょ銀行	運転資金として	195,056
流動資産合計				45,063,868
(固定資産) 特定資産	退職給付引当預金	定期預金	退職給付の準備金	2,804,944
		三井住友銀行日比谷支店		2,000,000
		ゆうちょ銀行		804,944
	情報システム運営基金	定期預金	情報システム運営のための基金	5,000,000
		新生銀行本店		5,000,000
	国際交流事業運営基金預金	定期預金	国際交流事業運営のための基金	7,586,511
		三菱 UFJ 銀行本店		4,554,865
		横浜銀行新橋支店		3,031,646
	国際シンポジウム運営基金預金	定期預金	シンポジウム事業運営のための基金	11,253,505
		りそな銀行赤坂支店		2,654,405
		芝信用金庫新橋支店		8,599,100
	産学共同研究基金預金	定期預金	調査研究事業運営のための基金	6,866,252
		りそな銀行赤坂支店		5,029,683
		横浜銀行新橋支店		1,836,569
	出版事業基金預金	定期預金	会誌事業運営のための基金	2,574,574
		三井住友銀行日比谷支店		1,553,973
		みずほ銀行新橋支店		1,020,601
	フルードパワーシステム技術基金	定期預金	フルードパワーシステム技術のための基金	5,000,000
		新生銀行本店		5,000,000
	リース資産			1,645,704
その他 固定資産		東京都港区芝公園 3 丁目 5 番 22 号	事務所使用のパソコン	153,900
		同上	事務所使用の複合機	1,208,628
		同上	事務所使用のサーバー	283,176
	電話加入権	同上	事務所使用の電話	38,441
	敷金	同上	事務所の敷金	3,163,800
固定資産合計				45,933,731
資産合計				90,997,599

(流動負債)	未払金			45,100
		堀井公認会計士事務所	2022 年 3 月分税理士顧問料	45,100
	前受金			5,035,000
		(株)SMC	2022 年度分寄附金	5,000,000
		ウィンターセミナー参加費	ウィンターセミナー参加費	35,000
	前受会費			15,718,000
		賛助会員	賛助会員の受取会費前受分	15,180,000
		2022 年度正会員	2022 年度の正会員会費	502,000
		2023 年度正会員	2023 年度の正会員会費	36,000
	預り金			65,810
	給与	2022 年 1 月～3 月分の源泉 所得税	26,440	
	士業報酬	2022 年 1 月～3 月分の源泉 所得税	15,570	
	住民税	2022 年 3 月分の住民税	23,800	
未払法人税等		2021 年度の法人税, 住民税 及び事業税	117,300	
流動負債合計				20,981,210
(固定負債)	リース債務			1,645,704
		東京都港区芝公園 3 丁目 5 番 22 号	事務所使用のパソコン	153,900
		同上	事務所使用の複合機	1,208,628
		同上	事務所使用のサーバー	283,176
	退職給付引当金		職員に対する退職金の支払 いに備えたもの	2,804,944
固定負債合計				4,450,648
負債合計				25,431,858
正味財産				65,565,741

財務諸表に対する注記

1. 重要な会計方針

(1) 引当金の計上基準

職員の退職金支給に備えるため、退職金規程に基づく期末要支給額を計上している。

(2) 固定資産の減価償却の方法

①リース資産

所有権移転外ファイナンス・リースに係るリース資産

リース期間定額法によっている。

(3) 消費税等の会計処理

消費税等の会計処理は、税込み方式によっている。

2. 特定資産の増減額及びその残高

特定資産の増減額及びその残高は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
特定資産				
退職給付引当預金	2,000,000	804,944	0	2,804,944
情報システム運営基金	5,000,000	0	0	5,000,000
国際交流事業運営基金預金	7,586,511	0	0	7,586,511
国際シンポジウム運営基金預金	11,253,505	0	0	11,253,505
産学共同研究基金預金	6,866,252	0	0	6,866,252
出版事業基金預金	2,574,574	0	0	2,574,574
フルードパワーシステム技術基金	5,000,000	0	0	5,000,000
小 計	40,280,842	804,944	0	41,085,786
合 計	40,280,842	804,944	0	41,085,786

3. 特定資産の財源等の内訳

基本財産及び特定資産の財源等の内訳は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	当期末残高	(うち指定正味財産からの 充当額)	(うち一般正味財産からの 充当額)	(うち負債に 対応する額)
特定資産				
退職給付引当預金	2,804,944	(0)	(0)	(2,804,944)
情報システム運営基金	5,000,000	(0)	(5,000,000)	(0)
国際交流事業運営基金預金	7,586,511	(0)	(7,586,511)	(0)
国際シンポジウム運営基金預金	11,253,505	(0)	(11,253,505)	(0)
産学共同研究基金預金	6,866,252	(0)	(6,866,252)	(0)
出版事業基金預金	2,574,574	(0)	(2,574,574)	(0)
フルードパワーシステム技術基金	5,000,000	(0)	(5,000,000)	(0)
小 計	41,085,786	0	(38,280,842)	(2,804,944)
合 計	41,085,786	0	(38,280,842)	(2,804,944)

4. 固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高

固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	取得価額	減価償却累計額	当期末残高
リース資産	6,026,400	4,380,696	1,645,704
ソフトウェア	3,750,300	3,750,300	0
合 計	9,776,700	8,130,996	1,645,704

5. 補助金等の内訳並びに交付者，当期の増減額及び残高
 補助金等の内訳並びに交付者，当期の増減額及び残高は，次のとおりである．

(単位：円)

補助金等の名称	交付者	前期末 残高	当期増加額	当期減少額	当期末 残高	貸借対 照表上 の記載 区分
国際シンポジウム助成金	(公財)精密測定 技術振興財団	0	500,000	500,000	0	—
合 計		0	500,000	500,000	0	

附属明細書

1. 基本財産及び特定資産の明細

特定資産の明細は，財務諸表に対する注記に記載しているため附属明細書での記載を省略している．

2. 引当金の明細

(単位：円)

科 目	期首残高	当期増加額	当期減少額		期末残高
			目的使用	その他	
退職給付引当金	2,175,332	629,612	0	0	2,804,944

資料7 監査報告

監査報告

2022年4月22日

一般社団法人 日本フルードパワーシステム学会
会長 眞田 一志 殿

一般社団法人 日本フルードパワーシステム学会

監事 井口 謙彦 

監事 川上 幸男 

監事 吉成 孝正 

私たち監事は、2021年4月1日から2022年3月31日までの第40期事業年度の理事の職務執行状況を監査いたしました。その方法及び結果につき以下のとおり報告いたします。

1. 監査の方法及びその内容

各監事は、理事及び使用人等と意思疎通を図り、情報の収集及び監査の環境の整備に努めるとともに、理事会その他重要会議に出席し、理事及び使用人等からその職務の執行状況について報告を受け、必要に応じて説明を求め、重要な決裁書類等を閲覧し、また、メールによる書面審議にて業務及び財産の状況を調査いたしました。以上の方法に基づき、当該事業年度に係る事業報告及びその附属明細書について検討いたしました。

さらに、必要に応じて会計帳簿又はこれに関する資料の調査を行い、当該事業年度に係る財務諸表等（貸借対照表、内訳表を含む正味財産増減計算書、財産目録、財務諸表に対する注記）及びその附属明細書について検討しました。

2. 監査の結果

(1) 事業報告等の監査結果

- 一 事業報告及びその附属明細書は、法令及び定款に従い、法人の状況を正しく、示しているものと認めます。
- 二 理事の職務の執行に関する不正行為又は法令もしくは定款に違反する重大な事実は認められません。

(2) 財務諸表等及びその附属明細書の監査結果

財務諸表等及びその附属明細書は、法人の財産及び損益の状況をすべての重要な点において適正に表示しているものと認めます。

第2号議案 役員交代の件

資料8 2022, 2023年度理事及び監事候補

理 事	伊藤 隆	KYB(株) 基盤技術研究所企画室 室長	新任
	奥平 宏行	SMC(株) 技術研究部 部長	新任
	風間 俊治	室蘭工業大学 もの創造系領域 教授	重任
	加藤 友規	福岡工業大学 工学部知能機械工学科 准教授	重任
	川上 幸男	芝浦工業大学 システム理工学部 教授	新任
	酒井 直行	(株)ジェイテクト 第3駆動技術部 部長	重任
	桜井 康雄	足利大学 工学部創生工学科機械分野機械工学コース 教授	新任
	嶋村 英彦	川崎重工業(株) 専務執行役員 精密機械・ロボットカンパニー プレジデント	重任
	鈴森 康一	東京工業大学 工学院 教授	新任
	高岩 昌弘	徳島大学 大学院社会産業理工学研究部 教授	新任
	竹村 研治郎	慶應義塾大学 理工学部機械工学科 教授	新任
	田中 豊	法政大学 デザイン工学部システムデザイン学科 教授	重任
	塚越 秀行	東京工業大学 工学院システム制御系/システム制御コース 教授	新任
	釣賀 靖貴	日立建機(株) 研究・開発本部先行開発センタ 部長	重任
	早川 恭弘	奈良工業高等専門学校 電子制御工学科 特任教授	重任
	丸田 和弘	(株)小松製作所 開発本部 フェロー	重任
	三井 和幸	東京電機大学 工学部先端機械工学科 教授	新任
	宮坂 篤	油研工業(株) 取締役グローバル事業本部長	重任
	柳田 秀記	豊橋技術科学大学 機械工学系 教授	重任
	吉田 和弘	東京工業大学 科学技術創成研究院未来産業技術研究所 教授	重任
監 事	川嶋 健嗣	東京大学 大学院情報理工学系研究科システム情報学専攻 教授	新任
	松村 和宣	CKD(株) 機器事業戦略部企画部 部長	新任
	吉成 考正	東京計器(株) 油圧制御システムカンパニー技術部 部長	重任